

『通いの場』通信

Vol.05

平成29年5月20日発行

生活支援コーディネーターが増員！ 3人体制でもっともっと地域のそばへ



生活支援コーディネーターをご存知ですか？
生活支援コーディネーターは、別名「地域支え合い推進員」とも呼ばれ、地域で暮らす方と、みんなが支え合える「居場所」や「支援」「情報」などをつなぐ専門職です。

地域にはたくさんの担い手がおり、「手づくりの活動」がたくさんあります。

昨年度も、生活支援コーディネーターが中心となり『通いの場』の取材やガイドブックの作成、フォーラムやサロン交流会の開催等を担当しましたが、地域の宝物である「通いの場」づくりを一層応援するため、生活支援コーディネーターが今年度2名増員され、3人体制となりました。これまで以上に地域のそばで様々な「つなぐ」機能を発揮していきたいと考えておりますので、サロンの開設情報や、運営に関する相談ごとをお気軽にお寄せください！



生活支援コーディネーター 左から、山下・松岡・戸川

サロンの取材にも、おじゃまをさせていただきます！

『通いの場』の開設や運営を生活支援コーディネーターがサポートします！

『通いの場』をはじめてみたい

参加したい

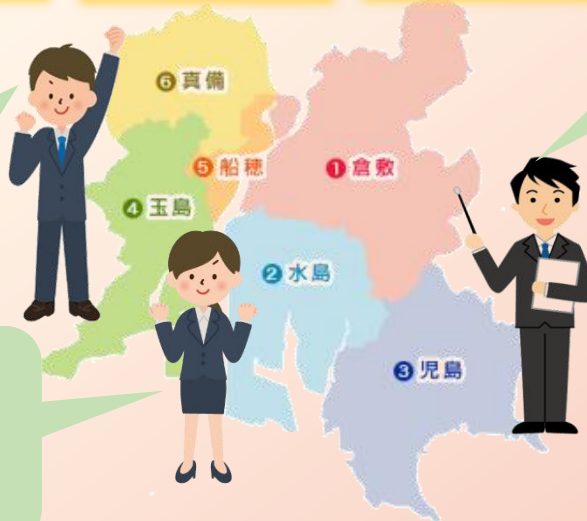
みんなで学びたい

活動について相談したい

いろんな機関とつながりたい

第1層生活支援コーディネーター 松岡 武司
【担当地区】
・倉敷地区中部(菅生・東・万寿・万寿東・葦高・粒江)
・玉島地区(船穂・真備含む)

第2層生活支援コーディネーター 戸川 雅江
【担当地区】
・倉敷地区西部(西阿知・中洲・中島・大高・南・老松・西)
・水島地区



第2層生活支援コーディネーター 山下 雅光
【担当地区】
・倉敷地区東部(庄・中庄・豊洲・帯江・茶屋町・天城)
・児島地区

★第1層と第2層のコーディネーターの違いについて
・第1層生活支援コーディネーターは倉敷市域を担当し、第2層は、より地域に近い生活圏域で活動を行います。倉敷市においては、3名のコーディネーターが連携しながら市域と生活圏域両方をカバーしていきます。

※生活支援コーディネーターは、地域住民相互の支え合い活動・地域づくりを推進することを目的に平成28年度より倉敷市の委託を受け倉敷市社会福祉協議会に配置された職員です。

あなたの居場所 見つけませんか？



くらしき『通いの場』ガイドブック
一人が集まる、笑顔が見えるー

- ☆倉敷市の『通いの場』情報満載
- ☆『通いの場』で、すてきな仲間づくり
- ☆『通いの場』運営に役立つ情報も

ご活用ください！
『通いの場』ガイドブック

『通いの場』ガイドブックは、倉敷市社会福祉協議会ホームページからも電子版が、ダウンロードできます。

<http://kurashikisyakyo.or.jp/welfare/zaitaku/saron/>



問合せ先：倉敷市社会福祉協議会地域福祉課 (☎086-434-3301)

『通いの場』 活動事例紹介

地域交流スペースうきうき館 (粒江学区)

地区社協と社会福祉法人純晴会
浮洲園が地域に開いた新たな拠点！



4月2日に開館セレモニーが行われ、たくさんの地域の方に新しい粒江の宝物がお披露目されました。

民生委員さんが所有されている借家(1棟)を活用し、地域の交流や活動が一層盛りあがるよう、社会福祉法人純晴会浮洲園が屋内外のリフォームや設備を整えてくれました。

うきうき館の運営は粒江地区社会福祉協議会が担い、サロン活動や世代間交流、趣味の集まり等幅広い活用が期待されます。将来的には、現在地区社協で協議を重ねている「お困り高齢者お手伝い隊」の事務局を置く予定です。



玄関の他にスロープも設置し、車いすのまま入館が可能です。

館内には、給茶機が設置されており、お茶やコーヒーが無料で楽しめます。

リフォームにより、広々とした空間が確保されました。いろんな活動ができそうです。

施設外観。たくさんの方のご活用お待ちしております！

歌って体操の会 (旭丘学区)

気兼ねなく通える、笑顔で健康に過ごせる通いの場！



音楽に合わせてストレッチや踊りもします。

懐メロ・童謡・唱歌などたくさんの中から、みなさんが好きな歌をみなさんと歌います。

- ☆開設年月日:平成28年4月
- ☆開催拠点:江長公民館
- ☆参加人数:20人
- ☆活動の回数
週1回(毎週火曜日)
9:30~11:30
- ☆発表会:11月28日(火)



代表者
網本富佐江さん

わたしもみんなも毎日、笑って過ごしたい。笑わせるのは難しいけど、歌ったり、体操をしたりすると自然とみなさん笑顔がこぼれます。

お一人暮らしのかたも家で声も出さずに過ごすより、ぜひ、ここへ来てみんなに会って、歌って声を出して笑って帰ってほしいと思っています。発表会もぜひ、お越しください。